

地球のいのち、つないでいこう

せいぶつ た ようせい
生物多様性

はぐく
人と生きものが 育みあうまち
うつのみや

～生物多様性を引き継いでいくために～

はくろさん うつのみやしちゆうしんちほうめん のそ
羽黒山より宇都宮市中心地方面を望む



宇都宮市には山や川、林などのさまざまな自然があり、そこには多くの生きものが生息・生育しています。

この自然の中で生きものが豊かにつながりあっている「生物多様性」からの恵みを次の世代に引き継いでいくため、本市では平成28年3月からの「うつのみや生きものつながりプラン(宇都宮市生物多様性地域計画)」を策定し、生物多様性の大切さについての普及や生物多様性の保全に取り組んでいます。



1 生物多様性ってなんだろう？

生命の誕生から40億年という長い年月の中で、生物は、さまざまな環境に適応しながら進化し、現在、地球上には3,000万種もの生きものがあると言われていいます。

これらの生きものたちは、森や川、草原、湿地、海などさまざまな環境で、互いにつながりあい、「バランスを取りながら」生きています。

そして、この生きものの個性と自然とのつながりの豊かさを「生物多様性」と呼びます。



2 私たちの暮らしに恵みをもたらす生物多様性

私たちの暮らしは、生物多様性からの恵みによって支えられています。これらの恵みは「生態系サービス」と呼ばれ、4つに分類されます。

生きものがうみだす大気と水 基盤サービス

植物が、光合成により二酸化炭素を酸素に変えることで、人間や動物は呼吸することができます。山林が雨水をろ過し、きれいな水を作り出します。



自然に守られる暮らし 調整サービス

森林は、雨水をため込み、大雨や強風による河川の洪水や土砂災害を軽減します。また、サンゴ礁は、台風や地震などによる高波からの防波堤となり、海岸侵食を防ぎます。



暮らしの基礎 供給サービス

食料、木材、医薬品、水など自然の豊かな恵みは、私たちの暮らしの重要な資源となっています。例えば、稲作などの農業や魚の養殖も、さまざまな生きもののおかげを利用して、生産しています。



豊かな文化 文化的サービス

各地域の特色ある風土が、地域固有の生物多様性と深く関係し、さまざまな食文化、工芸などを育んできました。例えば、「きぶな」。昔、宇都宮で病気が流行したとき、黄色い鮒を釣り上げ食べたところ、病気が治ったことから、病気除けとして黄色い鮒をまつるようになりました。



提供：宇都宮観光コンベンション協会

3

生物多様性にせまる危機

生物多様性が失われる原因のほとんどは、私たち人間の活動によって引き起こされたものです。

生物多様性が失われる原因

▼過剰な人間活動による影響

私たちが使う道路や家、工場などを造るときに、自然環境への配慮が不足すると、生きものの暮らせる場所が減ってしまいます。



▼自然に対する手入れ不足などによる影響

里地里山の手入れが不十分なままになると、そこに生息・生育する生きものの種類が変わってしまいます。



▼外来種などによる影響

アライグマ、アメリカザリガニなど人間が持ち込んだ外来種や、不適切に使用された農薬などの化学物質が、もともとの生態系のバランスを崩してしまいます。



▼地球温暖化などによる影響

地球温暖化のほか、強い台風の増加や、降水量の変化などの気候変動により、生きものの生息・生育する場所が変わってしまいます。



注目

生物多様性保全につながる活動をしている仲間がいるよ!

池などで、在来種を食べてしまう条件付特定外来生物*のアメリカザリガニなどを捕獲する活動



*詳しくはP6をご覧ください。

イラスト出典:環境省



アメリカザリガニ捕獲の様子



捕獲されたアメリカザリガニ

提供:公益財団法人グリーントラストうつのみや

河川で、自然観察やごみ拾い、除草、美化などをする活動



河川の美化活動の様子



河川の除草作業の様子

提供:宇都宮市河川愛護会

気をつけましょう!

どこかでとってきた生きものを別の場所に放すのは、自然保護ではありません。同じ種類の生きものでも、場所ごとに違う特徴を持っていることがあるので、生きものに悪影響を与えてしまうことがあります。

絶滅しそうな生きものを保護する活動は、その場所の特徴や別の生きものの暮らし方などまでよく調べ、よく考えてから行いましょう。

4 うつのみやの自然環境

うつのみやし ぶ しがしやま ほぐみさん なが きぬがわ
 宇都宮市には、北西部から北東部に広がる古賀志山や羽黒山などの山地、東部を流れる鬼怒川、
 しがいちのこ とまつりやまりよち じゅりんち すがたのこ つるたぬま
 市街地に残されている戸祭山緑地、ため池と樹林地のある昔ながらの里山の姿を残している鶴田沼、
 しいきぜんたい こうがい さまざま
 市域全体の郊外に広がる水田など様々な自然環境があります。



古賀志山

ひょうこう
 標高 582.8m
 市内最高峰であり、コナラ林、
 せいいく
 スギ林などが生育しています。



サシバ

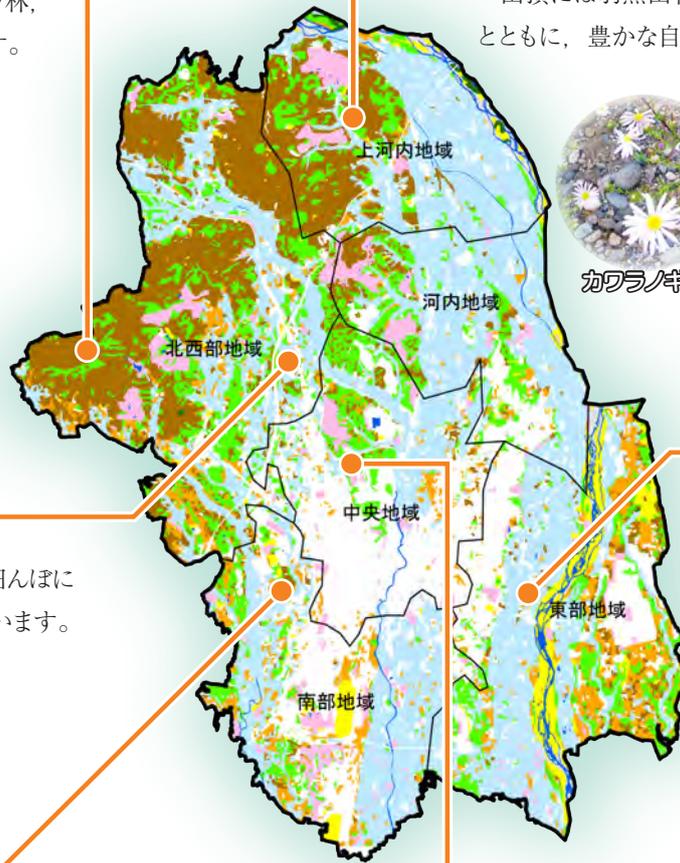


羽黒山

標高 458.2m
 山頂には羽黒山神社が鎮座し、ふもとの谷戸*
 とともに、豊かな自然が残されています。



谷戸と羽黒山



カクロービキ



シルビアンジミ



郊外に広がる水田

郊外には水田が広がり、田んぼに
 せいそく せいいく
 生息・生育する生きものがあります。



オオムラサキ



鬼怒川

市東部を流れる一級河
 せん きちゆう
 川であり、貴重な動植物など、
 河原には多くの生きものが
 生息・生育しています。



鶴田沼

鶴田沼は、その形から「ひょう
 たん池」とよばれ、貴重な湿地
 きちゆう しっち
 性植物などが生育しています。



戸祭山緑地

戸祭山緑地は、けいりんじよう
 競輪場通りの
 きゆうりようち
 北側にある小高い丘陵地です。
 しき しくぶつ かんさつ
 四季を通して植物が観察できます。



タコノアシ

*谷戸…丘陵地が侵食されて形成された谷状の地形

5 うつのみやに生息・生育する生きもの

うつのみやし
宇都宮市には、それぞれの地域に特徴のある自然環境があり、その地域の自然環境に見合った生きものが生息・生育しています。



北東部地域

地域の北側には羽黒山の樹林があり、中央の台地と鬼怒川沿いには水田が広がっています。南側の市街地には樹林が残っています。



スナヤツメ



フクロウ(幼鳥)



カワラノギク

北西部地域

地域の北側から北西側には古賀志山などの山地が広がり、スギ、ヒノキの植林やコナラ、アカマツ林が見られます。市街地の中には樹林が残っており、河川沿いには水田や草地が見られます。



エビネ



カジカ



マイコアカネ

中央地域

市街地の中にも樹林が残されており、地域の北東側には水田が広がっています。



ニホンカナヘビ



オオタカ



トウキョウサンショウウオ

東部地域

鬼怒川の河川敷にある樹林や草地と、川の周辺に広がる水田が広い面積を占めています。地域の東側の台地では、樹林と農地が入り混じっています。



コアジサシ



カジカガエル



ミヤマシジミ

南部地域

地域の西側から中央へ広がる台地にある市街地と、田川沿いの水田が広い面積を占めています。市街地周辺の雑木林、田川沿いの草地の他に、湿地やため池が見られます。



モートンイトトンボ



ヨコハマシジラガイ



ヒメナエ

※平成21・22年度宇都宮市自然環境基礎調査より

外来種ってなんだろう？

外来種とは、外国や日本国内の別の地域から人間によって持ち込まれた生きものを指します。

これらの多くは、ペットや観賞用、釣りなどのレジャー用、食用などの目的で持ち込まれたり、貨物や船などに付着して気づかないうちに運ばれたりしたものです。

また、同じ種類の生きものであっても、異なる地域に分布・生息している場合には、遺伝的に大きく異なる場合があるため、もとの生息地ではない場所に持ち込まれたものは外来種となります。



コマクサ

白山（石川県）に持ち込まれたコマクサは、もともとは、北海道や東北の山にしか生えていなかった外来種です。



カミツキガメ

もともとは、アメリカ大陸にしかいなかったカミツキガメも日本に持ち込まれた外来種です。

外来種のなにが問題なの？

外来種の中には、私たちの暮らしに欠かせない外来種もたくさんいる一方で、地域の生態系や農作物に被害を与えたり、人間に直接危害を加えたりする外来種もあります。

外来種が、捨てられたり、逃げ出したりして野外で繁殖を始めると、急速に拡がってしまうことがあります。

しかし、一度増えてしまった外来種を駆除することはとても困難です。また、外来種が侵入した場合の影響や被害を予測することも難しいため、外来種を侵入・定着させないことが重要です。

外来種が
引き起こす
3つの
悪影響

- ① 日本固有の生態系への影響
- ② 人の生命・身体への影響
- ③ 農林業への影響

侵略的外来種が引き起こす3つの悪影響

① 日本固有の生態系への影響

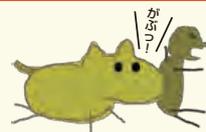
- 在来種（もともその地域にいる生物）を食べる
- 近縁の在来種と交雑して雑種をつくる



- 在来種のみかを奪ったり、えさを奪い合ったりする

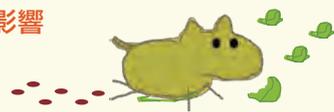
② 人の生命・身体への影響

- 毒をもっている
- 人をかんだり刺したりする



③ 農林水産業への影響

- 農林水産物を食べる
- 畑を踏み荒らす



外来種の被害を予防するために

入れない

悪い影響を及ぼす外来種を「入れない」

捨てない

飼っている外来種を野外に「捨てない」

拡げない

野外にいる外来種を他の地域に「拡げない」

法律で規制されている外来種は？

アカミミガメとアメリカザリガニについては、令和5年6月から外来生物法^{がいらいせいぶつほう}※に基づき、「条件付特定外来生物^{ていがいらいせいぶつ}」に指定されました。条件付特定外来生物は、飼育や、無償譲渡^{むしょうじょうと}などはできますが、野外へ放したり、販売・頒布・購入することなどは原則禁止されています。

※ 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律



アカミミガメ



アメリカザリガニ



外来種のうち、人間の活動^{かつどう}によって海外から持ち込まれ、特に生態系や人の生命・身体^{せいめい しんたい}、農林業に重大な被害^{ひがい}を及ぼす恐れがあるものは、外来生物法により「特定外来生物^{とくていがいらいせいぶつ}」に指定されています。

特定外来生物

- アライグマ ●ウシガエル
- オオキンケイギク ●オオクチバス
- クビアカツヤカミキリ ●カミツキガメ
- ヒアリ ●ブルーギル など



アライグマ

出典：環境省



ウシガエル

出典：環境省



オオクチバス (通称：ブラックバス)

提供：栃木県なかがわ水遊園



オオキンケイギク

出典：環境省



ヒアリ

出典：東京都環境局



クビアカツヤカミキリ

提供：栃木県農業試験場



ブルーギル

提供：栃木県なかがわ水遊園

特定外来生物は、飼う、運ぶ、受け渡す、野外へ放つ、種をまくことなどが、原則禁止されています。

飼育・栽培



運搬



保管



輸入



野外に放つ/
植える/まく



許可を受けていない者に対しての譲渡/受渡し



イラスト出典：環境省

6

生物多様性を守るためにできること

いろいろな生きものが生息・生育できる豊かな自然環境は、私たちの生活に深いつながりがあり、緑豊かな山やきれいな川を守ることは、生物多様性を守ることにもなります。

宇都宮市の貴重な財産である自然環境、そして豊かな生物多様性を次世代に引き継ぐため、私たち一人ひとりにできることがあります。

生物多様性の大切さを知る

- 屋外に出て、自然の心地よさを感じてみましょう。
- 身近な生きものを観察してみましょう。
- 生きものを育ててみましょう。



生物多様性を守る

- ごみのポイ捨てをしないなど、自然を汚さないようにしましょう。
- 自然のものをむやみに採ったり、傷つけたりしないようにしましょう。
- めずらしい生きものの情報は公開しないようにしましょう。
- 生きものを驚かさないように、巣や棲みかに近づき過ぎないようにしましょう。
- ペットは最後まで責任をもって飼いましょう。



コラム 「自然共生圏」～新しい価値観～

これまで、自然の恵み（生態系サービス）は、主に豊かな自然を有する「地域」が提供し、「都市部」は大きな負担をすることなく、受ける関係が続いてきました。こうした関係を見直し、自然の恵みでつながる地域や人々を「自然共生圏」として一体でとらえ、資金や人材、情報などの連携や交流を深めていき相互に支えあおうという考え方が高まっています。



環境保全課では、生物多様性をより詳しく
知りたい方のために、出前講座をご用意しています。

宇都宮市 環境出前講座

検索

生物多様性に関する情報はこちら



@u_biodiversity



発行 令和6年3月
宇都宮市環境部環境保全課
TEL: 028-632-2405
FAX: 028-632-5279



宇都宮市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。